

令和3年度 国分寺市相談支援スキルアップ研修会 ネットワーク研修Ⅰ  
～地域移行支援 in 国分寺～地域移行支援ワーキング・グループ活動開始報告～

アンケート集計結果

参加申込:125名 アンケート回収:19名(回収率15%)

1. 本日の研修はいかがでしたか。

- |              |   |           |
|--------------|---|-----------|
| たいへん参考になった   | : | 12名 (63%) |
| 参考になった       | : | 7名 (37%)  |
| 普通           | : | 0名        |
| あまり参考にならなかった | : | 0名        |
| その他          | : | 0名        |

2. 今後、実際の業務で取り組めそうなことは見つかりましたか？具体的にお書きください。

- |           |   |           |
|-----------|---|-----------|
| 見つかった     | : | 13名 (68%) |
| 見つからなかった  | : | 2名 (11%)  |
| どちらともいえない | : | 4名 (21%)  |

- ・伊澤さんがやっていたような病院への訪問などを通して、医療関係者と良い関係を築けたら、地域移行、退院が大きく前を進むのではと思った。そのような機会を作るためには、行政の協力が大きな意味を持ってくると思われる。国分寺の担当課長さんのような、前向きな行政担当者を増やすことも必要かと考えた。
- ・ピアサポートの大切さの強調に、そこにヒントがあるのかもしれないと思った。
- ・入院生活の長い人にはそれなりの「手厚さ、緻密さ（よく聞き取れなかったが）、ノウハウ」になるほどと思った。今関わっている方を考え合わせ自分が単純に考えすぎていた部分を自戒した。
- ・国分寺市として、病院に向けて退院支援の呼びかけを行っている姿と、相談支援専門員に対しても一緒に支援に取り組んでいこうというメッセージがあったことを受けて、自分たちが頑張って請け負わなくてはいけない負担感のようなものを持つ必要はなく、国分寺市全体で支援を考えていけばよいと、勇気づけられた。
- ・高齢期の地域移行支援の事例を共有する機会を得たいと思った。
- ・もっともっと病院と地域の方同士で「話をする」ということが必要だと思った。
- ・近隣との連携はかなり進んでいるが、帰住先の自治体等とのピア活動の連携も今後活用していくたいと思った。
- ・にも包括構築推進、協議の場の持ち方、精神科病院へのアプローチ等々、参考にさせていただきたいと思う。ピアサポーター活用アドバイザー事業も詳しく知ることができてよかったです。
- ・地域移行支援の実施の際に、退院を実現するための必要な要素として食生活などがあがっていたが、単に食事の提供方法を考えるのではなく、ご本人ができるところも考慮しながら食材の調達方法の情報を提供なども退院実現への要素であるとの話を聞き、方法の提供だけでなく様々なインフォーマルを含めた社会資源や情報の提供も必要だと学んだ。今後地域移行支援を行う際には、色々な観点で情報を提供していかなければよいと思った。
- ・共同生活援助の職員です。どなたでも安心して、退院できるような一つの受け皿として、窓口を広げて、現場の支援の体制も良質を上げて整えていく必要があると実感した。また、受けるだけではなく、市民を迎えるに行く、いつでも待っているというメッセージを送れる、手伸ばし支援も探していきたいと思っている。また、協議会や部会含め、国分寺市の「にも包括」の構築のための情報も

常に意識しようと思った。障害の有無に関係なく、地域の一員として、自分らしく暮らせるサポートをしていきたいと思っている。

- ・精神保健福祉部会に地域移行支援のワーキング・グループをつくり、研修の連動を図るなど、「持続可能な体制づくり」に取り組んでいることが非常に印象的だった。それぞれの地域の実情は異なるにしても「地域として地域移行支援・地域定着支援に取り組む土壤を構築する」取り組みは、「にも包括」における重要な要素であることをあらためて確認し、その効果的な方法としての具体的な体制づくりに、自分の活動する地域らしさを活かして実践したいと思った。
- ・病院や当事者への聞き取り。
- ・当事者の声を反映させる取り組み。
- ・病院内では病棟ごとに毎年ピア講演会を実施してきた。病院近隣の事業所の方や、その病棟から退院され当院の訪問看護などの社会資源の利用をしている方にお願いし、直接的な繋がりで、自前で企画してきた。コロナ禍において、中止せざるを得ない状況にあったが、都事業のピアソーター活用アドバイザー事業が開始したことで、対面以外のやり方がないか、今までのやり方よりもさらに良いやり方があるか等、相談していきたいと感じた。

### 3. 国分寺市の地域移行の取組に対してご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

- ・ピアソーターの方の具体的な取り組み事例などが聞けると大いに参考になると思われる。プライバシーの問題などあろうが、少し一般化するなどして、ピアの活動の意義をもっと周知してほしい。
- ・石丸課長の呼びかけに感動しました。本人の希望の可否もあると思うが、可能であれば、実際に長期入院している人に会いに行き、現在の入院生活の状況や意向を直接伺う機会を持ってほしい。退院支援においては特に、市が状況を把握してくれているかそうでないかで、相談支援を担当する際の気持ちが大きく変わると感じている。相談支援事業所側の課題もあるなか、具体的な「一緒に取り組む」という形と一緒に考えて作っていけるように、意識を共有していけると良いと感じた。
- ・基幹相談支援センター、事業所、行政が組織的に取り組まれていることがすごいと思った。
- ・ピア国分寺さんの利用はじめ退院支援に連携させていただいている。今後とも連携をお願いします。
- ・地域移行支援において、ピアサポートの重要性や必要性を感じているが、当区ではピアソーター養成などが盛んではない現状がある。国分寺市をはじめ、豊島区や世田谷区などはうまく都や区の事業所を利用してピアソーターの要請・活躍ができていると思った。当区でも地域移行支援を促進するためにもピア活動をうまく活用していきたいと思う。
- ・部会を軸に、各種アンケートなどの調査、ヒアリング、歓談等、また、基幹さんとプラツさんの連携を基に、国分寺市らしい地域移行の取り組みが行われていると感じている。平成24年度以降、基幹さん主軸で、ここまで体制づくりには感心致します。ワーキング・グループも素晴らしい、このような動きが現場や当事者さんにももう少し情報が伝わる形になればと思う。部会は変わるが、就労支援事業所でも地域移行支援ができることもあるはずなので、就労支援事業所とも情報提供ができ、国分寺市で盛り上げていくことができれば嬉しい。国分寺市では、総合支援法と市担、都型のショートステイ事業があり、それらがさらに有効に使えるような情報提供もあればよいと思っている。地域移行だけではなく、地域定着としてのピア活動も大事であると思われるので、その育成や採算のバックアップもあれば良いなと思っている。
- ・丁寧な取り組みの重なりが伝わる素晴らしい実践だと思った。具体的な事例や今後の展開、またピア活動の具体的な実践など、ますます勉強させていただきたいので、またの機会を期待しています。

4. 今後の研修で取り上げてほしい内容や研修会へのご意見・ご要望等ご自由にお書きください。
- ・最初「にも包括」が分からず疑問に思いながら講義を受けていましたが「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」と理解することができた。地域包括支援センターの職員になったばかりなのでこの研修での学びをこれから取り組みに生かしていきたい。どうぞよろしくお願ひいたします。
  - ・ご家族の声を聞くことは学びと刺激になるので、いずれ取り上げていただけると有難いです。
  - ・病院の方や高齢分野の方、行政の方などと一緒に話し合いを行う研修が早くできると良いですね。
  - ・当院では、ぴあの方を招いての講演会や個別支援を行っていたが、コロナ感染の状況により休止が余儀なくされています。その点においてのアプローチの方法があれば、教えていただきたいです。
  - ・グループホームの通過型とグループホームの滞在型の目的、自立させるための取り組みと問題点そこへのアプローチ方法、自立の定義、移動支援と同行支援についての基礎と取り組みや考え方。
  - ・ピア活動に興味がある当事者は多くいます。LPのような地域移行に特化した構造的なピアサポートだけではなく、もっと広い範囲での自然的なピアサポートも大事であると思う。採算や体制づくりも大事だが、当事者のどなたでも参加できる研修があればよいと思っている。また、現場の職員は、中堅がやめてしまうと事業所の運営や当事者のサポート体制に影響が及んでしまうこともある。そういう意味では、メンタルヘルスの研修もあればよいなと思っている。
  - ・「にも包括」への取り組み方、生活支援拠点の活用など、効果的な体制づくりのポイントなどを勉強したいと思う。
  - ・合理的配慮の実例について

5. 所属している団体について教えてください。

精神科病院：2名 メンタルクリニック：2名 地域活動支援センター：3名  
障害福祉サービス事業所：4名 訪問看護ステーション：2名 地域包括支援センター：2名  
行政機関：2名 その他：4名

6. 職種について教えてください（複数回答可）。

精神保健福祉士（PSW）：10名 医療ソーシャルワーカー（MSW）：0名 医師：0名  
看護師：0名 保健師：0名 相談支援専門員：3名 ケアマネジャー：2名  
支援員：3名 行政職員：1名 その他：4名

7. 視聴した日付について教えてください。

6月21日（月）：4名 6月22日（火）：2名 6月23日（水）：2名  
6月24日（木）：1名 6月25日（金）：5名 6月26日（土）：2名  
6月27日（日）：3名 6月28日（月）：0名

8. 視聴した時間帯について教えてください。

午前（9～12時）：7名 午後（13時～18時）：10名 夜間（18時～）：2名

9. 視聴場所について教えてください。

職場：11名 自宅：8名 その他：0名

10. 視聴端末について教えてください。

スマートフォン：3名 タブレット：0名 パソコン：16名 その他：0名

11. Youtube オンデマンド配信についてお教えください。

順調に視聴できた：19名 視聴にやや手間取った：0名 問題があった：0名

## 12. オンライン開催についてご意見・ご感想をご自由にお書きください。

- ・最後に課長さんが言っていたように、「顔の見える関係」をオンライン研修で築くための方法はあるのでしょうか。オンラインの良さもありますが、関係性を築く、という点では難しいですよね。
- ・YouTube の講義は、自分の都合に合わせて視聴できることや、一時停止ができるので聞き取れなかった箇所やメモを取りたい時に便利だと思った。
- ・1人でも多くの人々が学ぶために手軽さもありハードルが低くなるので良いと思った。私自身は会場で学ぶのが一番ですが、こうした形のものを複数回重ねていき、ネジを巻いていくことが自分には大切な学びになるとを考えている。
- ・皆さん、素敵なお声で素敵な講演だった。銀川センター長の案内も最高でした！石丸課長が画面に映った時には感動して涙が出そうになりました！皆さまのお力の結集と成果に感動しております。本当にありがとうございました。
- ・全てにおいて無駄が多い。簡素化することで、もっと伝えられることがあるのではないかと思う。
- ・マイク音と音質、バックミュージックの音量とのバランスを考慮いただくとより見やすい。話している声が小さく音量を上げたらバックグラウンドで流れる音楽が大きくピックアップしたり、音質が悪いことで音がこもっていたり、聞き取りづらかったりする。対面と違いネット配信では特に重要だと思う。
- ・当センターでも研修を動画やオンラインで行いたいと考えている。まだまだこれから準備だが参考になった。もしかしたら、やり方などご相談の連絡をするかもしれない、その際には教えていただけるとありがとうございます。よろしくお願ひいたします。
- ・とても素晴らしい研修でした！本当にご苦労様でした。クオリティも高く、正直びっくりしながら感心しました。この研修の動画はとても内容がよく、法人内の他の職員にも紹介したいと思った。申込者以外の方にも配信できることができればとても嬉しい。この研修だけで終わるのがもったいないと思った。
- ・研修の構成も素晴らしく、非常にわかりやすく聴かせていただいた。ありがとうございました。
- ・オンデマンド配信だと都合の良い時間に視聴できるのでよかったです。しかし、コロナ禍が落ち着いたらぜひ、対面の会ができると良いと思う。質疑や研修以外の情報共有も重要なと思う。人数の調整は必要になるかもしれないが、ZOOM 等を利用して双方向の研修もよいかと思います。